

# 平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	日本赤十字活動促進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	河原 智明				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び災害等困窮者	意図	人道的任務達成を目的に活動する、赤十字の活動を周知し、その活動を支援することにより、以って世界の平和と人類の福祉に貢献する
事業内容	赤十字の博愛人道精神に基づき活動している、赤十字奉仕団の活動支援業務 ・赤十字が行う献血事業への協力 ・赤十字社の活動資金となる社資（寄付金）の募集運動への協力 ・救急法スクールの開催、炊き出し講習会の開催、一日赤十字の開催、防災訓練への協力、市民まつりへの参加等			
事業開始から現在までの状況変化	・赤十字に対するニーズの増加に伴い、高齢者支援や救急法講習会などの事業の充実を図っている。 ・団員の増員が進まず、団員の高齢化により活動が負担になってきている。 ・景気低迷の影響により、社資（寄付金）募集に苦慮している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	赤十字奉仕団団員数（ボランティア）	52	46	57	
②	社資（寄付金）	9,577	9,548	9,520	千円	↑↑↑	
③	炊き出し用大釜	5	5	5	基	→→	
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・事業が増加する中、新規入団者も少なく、団員の高齢化も進み、活動での負担が増加している ・平成25年度は、望まれていた男性団員が3名入団し、女性だけでは難しい、力仕事に対応できるようになった ・人口は増加しているが、社資（寄付金）は横ばいである
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,124,000	7,726,000	7,535,000			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		8,124,000	7,726,000	7,535,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	日赤奉仕団の事務局として、新規団員募集の事務を行う	③取り組みの課題	入団説明会により、一定の効果を得たことから、今後も計画的に実施していく
②今年度(H25)に実施した取り組み	日赤奉仕団の入団説明会を5月11日(土)実施し、結果、9名が入団した。	④今後の改善計画	計画的に団員募集活動を行っていく